

令和3年度第1回船橋市立医療センター運営委員会（書面会議）議事録

（令和3年8月27日作成）

1 開催日時

令和3年8月6日（金）～令和3年8月20日（金）

（資料送付から意見の取りまとめを行った日まで）

2 開催場所

書面会議のため無し

3 出席者（回答者）

（1）委員

福山委員、齋藤委員、横手委員、寺井委員、横須賀委員、寺田委員、鳥海委員、山口委員、林清人委員、大竹委員、澤本委員、林康夫委員、海老根委員、土屋委員

（2）理事者

—

4 欠席者（未回答者）

なし

5 議題

（1）委員長・副委員長の選任について（公開）

（2）令和2年度の取り組み達成状況、経営指標及び決算額について（公開）

（3）船橋市立医療センター中期経営計画（令和3～5年度）の改訂について（公開）

6 傍聴者

なし

7 決定事項等

（1）齋藤委員を委員長として、寺田委員を副委員長として選任した。

（2）令和2年度取り組み達成状況、経営指標及び決算額の状況について確認。令和2年度の取り組みに対する評価としては、未達成の目標はあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により致し方ない部分も多く、目標達成に向けた努力が感じられるため、一部達成として評価する。

なお、各委員からいただいた意見は以下のとおり。

◇令和2年度の取り組み達成状況について

（大項目1に対する意見）

- ・安定した経営については、コロナ禍にあって、補助金で補える範疇で運営出来ていることが評価される。紹介率、逆紹介率も維持されている。
- ・大項目1の小項目「診療報酬請求の最適化」について、コロナ禍に診療報酬改定に対し、WEBとのハイブリッドで説明会を行ったことは評価すべきで×とは思わない。
- ・大項目1の小項目「その他の収入確保策」について、全身麻酔、手術件数の減少は、地域医療における役割から、その様にして頂いている状況であり、今回、評価対象から外すのが妥当。
- ・新型コロナの影響により、多くの病院で入院・外来患者数が10～20%減少しているのので、船橋市立医療センターにおいては入院・外来患者の減、手術数の減はある程度仕方ない面があると思う。しかしながら、その中でなるべく減少の影響を少なくする為の努力が認められる。特になかなか難しい連携医訪問などにより、紹介率・逆紹介率を達成している事は素晴らしいと思います。
- ・大項目1の小項目「診療材料費の削減」について、ベンチマークの分析による経費の見直しを評価いたします。

(大項目2に対する意見)

- ・医療安全への取り組み、医療機器の整備、計画的なシステムの更新が着実に行われていると考えます。
- ・医療の質の向上について、研修・公開講座等に行えないのが当然で、診療におけるドクターエイドの活用、人材確保等出来る事を行っている。
- ・大項目2の小項目「平均在院日数の短縮」について、心不全チームの立ち上げ等、評価すべき。心不全パスそのものの見直しが必要かと考えさせられる状況で、評価の下がる状況と考えない。
- ・大項目2の小項目「患者満足度の向上」について、引き続きの向上を望みます。

(大項目3に対する意見)

- ・コロナの影響にもかかわらず、三次救急患者数1,267人は目標には及ばないものの△で良いと思われまます。
- ・高度急性期病院の機能充実について、コロナ以外の救急対応、胃がん健診等の状況は致し方ない。

(大項目4に対する意見)

- ・大項目4は研修会、講演会の新しい領域の治験の受託など積極的な姿勢が見られる。ただ、コロナの影響のために結果を生み出すことは今後に期待したい。種々の方向性を持つ教育、研修を実践されていることは評価できる。コロナのために十分に行えなかったことは将来の発展を期待したい。
- ・新型コロナの影響を今後OnlineやWebによる研修をする事により少なくする必要があるかもしれません。
- ・教育・研修等の充実について、コロナ禍で悩ましいが、これを機にWEB形式の研修・勉

強会のあり方の検討のチャンスかと。個人的には、腎・膠原病の清水先生とは一緒に研修会・講演会が出来ました。院外の地域医療・研究会・講演会等の活動も評価すべきと思います。

- ・大項目4について、院内での研修がし易いように、WEB研修の時間・空間の提供を考慮すべきかと。WEBでも参加しやすい状況を積極的に作らないと今後も難しい状況は続くと思う。

(全体に対する意見)

- ・厳しい自己評価がありますが、皆様の努力は十分評価できる内容と思います。
- ・コロナ禍のなか、出来る限りの対応をされたことを評価致します。
- ・新型コロナという災害にも匹敵する状況下で、医業収支はマイナスであったが、経常収支は目標を達成したので評価は○とした。
- ・新型コロナ感染症の流行により、医業収支比率の減少は致し方ないところであるが、その分コロナ補助金等で経常収支比率が上昇しており、経営的には達成と見て良いと考える。特に新型コロナの重症患者受け入れで、地域医療における貢献度は高い。
- ・何れの目標においても、コロナの影響により達成困難になったと思われる。コロナの対応の方が優先事項だと思うので、その役割を果たすために仕方がない部分もある。
- ・新型コロナの影響が直接・間接的にあるなかでの病院経営は例年に増して大変だったと思います。
- ・自己評価を×や△とした小項目も対前年度で改善しているものもあり、引き続き取り組みを進めて下さい。
- ・目標未達成の項目が散見されておりますが、ほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響によるものと思われ、致し方ないものと考えます。その他の項目については、概ね予定どおり達成できていると評価します。
- ・新型コロナウイルスの影響により達成できなかった項目はあるが、感染症患者の受入れを行いつつ、通常の診療機能を維持し、多くの入院患者及び外来患者の診療を継続したことは高く評価できると思います。
- ・自己評価を△や×としている項目の多くが新型コロナウイルスへの対応からであり、事実上○として良いのではないか。
- ・令和2年度はコロナウイルス感染症の感染拡大により患者が減少し、それがあらゆる指標に影響したものと思います。そのため、例年のような成果を収められなかったことも致し方ないものと考えます。

◇船橋市立医療センター中期経営計画の経営指標と数値目標について

- ・過去に経験のないコロナ感染症などの影響で考えれば、やむを得ない結果と思われます。
(職員の増加と患者数の減少はやむを得ないでしょう)
- ・経営はコロナによる影響が減収をもたらし、院内患者はじめ、いろいろな医療活動の減少は致し方ない結果であると思われる。これらとは別にこの機会に医療現場の多様性(診療科の合同活動、総合的に医をカバーする体制など)を提案して欲しい。

- ・コロナ禍ゆえに致し方ないと思われる。
- ・概ね妥当と考えます。
- ・総括とほぼ同様であり、表面上は未達成の項目が多いが現状では良くやっておられると思う。
- ・外来、入院患者さんの減少と、働き方改革の実施の中、致し方ない、当然の目標の下方修正かと思います。この目標設定を誤ると、今後の運営・経営に大きなマイナスとなると考えます。
- ・経常収支比率が伸びて、努力を感じた。
- ・医業収支比率や材料費対医業収益比率が目標を達成できなかったのは新型コロナの影響もあり、やむを得ないと考える。
- ・紹介率や逆紹介率が目標を上回ったことは評価できる。
- ・新型コロナウイルスの影響により患者数が減少し、医業収益も減少したことから、数値目標の達成は困難な状況であったと思われるが、そのような状況でも目標値を達成しているのは、医療センターの職員みなさんが努力していただいた結果だと考えます。

◇令和2年度決算額について

- ・いずれにしても職員の皆様の健闘を評価したいと思います。職員の増加と働き方改革に伴う勤務手当、給与費の増加は患者数の減少と共に止むを得ないと考えます。
- ・コロナ禍ゆえに致し方ないと思われる。
- ・現在の状況での医業収益の減額は、少ないと感じます。
- ・コロナ禍なので数字が悪いのは仕方ないと思う。
- ・新型コロナウイルス対応による病床数の減少などに伴い医業収益は減少しましたが、補助金による医業外収益の増加と材料費の減少などにより、結果として純利益が生じたことは良かったと思います。

◇その他のご意見について

- ・新病院建設へのステップアップとして新型コロナウイルスの流行を受けて感染症に対する備え、そして安全で信頼される医療の提供の実現のために安定した病院経営、更に教育、研究等の充実など全く同感で過去を思い出します。
- ・コロナ禍の難しい状況で大健闘と考えます。働き方改革は病院経営に大きく影響するのは必至で、市の行政対応が求められる。船橋市の医療の砦を守るべく、予算の再検討も必要かと思います。医業に於ける補助金とは別に、国からのコロナ対応の予算の一部を、コロナで影響を受けている分野への助成に当てられないか検討して欲しい。

(3) 船橋市立医療センター中期経営計画（令和3～5年度）の改訂案について、承認された。

8 問い合わせ先

病院局経営企画室 047-438-3321(代)